

【国際関係学部】令和7年度 FD活動の「年間計画」

1. 今年度の取り組み（前年度の「FD 年間報告書」から修正）

- ・昨年度から引き続き授業や課題における生成AIの活用方法について検討するが、今年度は専門科目の国際英語科目で議論する。
- ・学修者の主観的評価と客観的評価との整合性を確認し、アセスメント科目の評価基準と評価方法の検討を行う。
- ・課題解決型の授業の指導方法・評価方法を検討する。

2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：課題解決型授業の指導方法と評価方法の検討

(2) 目的：国際関係学部ではカリキュラム改革を行い、令和7年から1年次から課題解決型の英語科目を導入した。そのため、年次に応じた課題設定や指導方法、発表方法の検討が必要となる。今年度のFDでは、課題解決型授業の授業計画や指導方法、成果発表の方法、評価方法を教員間で議論し、AI活用方法など一定の方向性を検討することを目的とする。アセスメント科目であり、国際英語科目の集大成となる3年次生の成果物発表を参観し、課題設定と到達目標の整合性やその到達度を確認し、指導方法について議論する。

(3) 期待する効果：学修者の能力と到達目標との乖離が解消され、適切な課題設定と指導のもと、学修者が課題の発見・解決に向けた能力を向上させることができる。複数担当科目における指導や評価のばらつきがなくなり、主観的・客観的評価が高いレベルで一致するようになる。

3. 公開授業等について

(1) 第1回 FD研修会

①公開授業：課題解決型授業の指導方法と評価方法の検討

実施日：7月16日（水）3限

実施科目：Issues in International Relations I (3年次生)

担当：ノハラ・マコーマック・吉田・井口・クロス・ストレフォード・三田

②ワークショップ

公開授業に基づき、課題解決型授業の設計や指導方法、評価方法について意見交換を行う。

(2) その他研修会等：

①第2回 FD研修会

日時：10月15日（教授会後）

場所：SR107会議室

テーマ：アカデミックスキル指導方法の検討

目的：授業におけるレポートや卒業成果物作成の際に必要なアカデミックスキル（ライティングルール、生成AI活用方法等）の指導方法を学びあう。

・動画視聴：発展演習で使用するライティングルール解説動画（作成担当：三田）の一部を視聴する。

・意見交換：ライティング指導に関する典型的な困りごと、学生からよく出る質問のサンプルを提示し、それをもとにグループで自由に意見交換する。

・全体討議：共有と意見交換を行う。

②卒業成果物・アセスメント科目の評価基準の検討

③演習科目の指導効果の検証・改善策の検討

※この内容は本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。